第1回　すこやか大阪21(第3次)推進会議　会議要旨

1　日時

令和6年9月26日(木)　10時00分～11時40分

2　会場

大阪市保健所(あべのメディックス)12階　研修室1・2

※「Microsoft Teams」を利用したWEB　会議と併用

3　出席者

(1)委員

【会場参加】上田委員、繪本委員(座長)、喜多村委員、北吉委員、田島委員
中野委員、西本委員、浜谷委員、弘川委員、福島委員、本多委員(五十音順)

【WEB参加】杉浦委員、福岡委員、山本委員(五十音順)

(2)事務局

【健康局】局長、首席医務監、健康推進部長、保健指導担当部長、健康施策課長、健康づくり課長、
健康づくり推進担当課長、受動喫煙防止対策担当課長、生活習慣病担当医務主幹、保健主幹、
精神保健医療担当課長、保健所長、保健所管理課長、保健所保健医療対策課長、
保健所感染症対策課長

【天王寺区役所】保健福祉課保健・生活支援担当課長代理

【住吉区役所】保健主幹

【経済戦略局】スポーツ課長

【福祉局】国保保険事業担当課長、認知症施策担当課長代理(代)、生活保護調査担当課長

【こども青少年局】母子保健担当課長

【教育委員会事務局】保健体育担当課長代理(代)

4　報道機関取材者及び傍聴者

報道機関:無　傍聴者:1名

5　議題

(1)　すこやか大阪21(第3次)計画前期アクションプラン(案)について

(2)　大阪市歯と口腔の健康づくりアクションプラン～すこやか大阪21(第3次)～(案)について

6　要旨

(1)　すこやか大阪21(第3次)計画前期アクションプラン(案)について

事務局より資料1・2に沿って説明。

(主な意見・質疑等)

<プラン全体>

・作成に際して、なにか参考にしたのか

→他部局のアクションプランなども参考にし、試行錯誤し、オリジナルとしてこの形にたどりついた。

・アクションの追加・修正等、計画中の変更もありうるのか。

→その通りである。アクションの追加や終了等の変更があれば、修正していく予定。

＜分野別:取組状況表＞

・他部局との連携がわかりやすい。

・どのライフステージへの取組なのかがわかりやすい。

・各年度の取組を実績(数値)で評価するプランとなっており、アクションの効果を評価するにはとてもよい。

・数値が未確定の部分について。

→来年度には確定値で報告できる。

・自己評価:A, B, C のうち、B について、なにか定義はあるか。

→今後は実施しながら検討したいと考えているが、A は目標を達成している。B は目標数値を達成できていないが、方向性は間違っていない。見直しの必要が無いような場合を考えている。関係部署とも協議しながら、定義を設定していきたい。

・R5 年度の数値が示されているが、翌年以降も同じ方法で調査・集計するのか。

→その通りである。

分野別:がん 資料1 5ページ

・検診受診率の向上が課題となっているが、就労のため青壮年期は平日の受診が難しい。自宅でできる検査の活用について、検討できないか。

→大阪市として、検診受診率向上は喫緊の課題と認識している。市が実施する対策型がん検診は、国が定めている検査内容を実施する必要があるため、自宅での検査の検討は難しい。ご指摘の内容は、職域との連携が重要と考えるため、その点で、今後検討していきたい。

自宅でできる検査としては、現在大阪市で、予約なしで大腸がん検査キットを自宅に送付し検診を受けていただく事業を実施しており、受診率向上、受診しやすい環境づくりの整備に努めている。

・大阪市立学校におけるがん教育の実施状況について教えてほしい。また、「学校園におけるがん教育」の R5 実績「104」は学校数で良いか。

→大阪市立学校においては、がん教育を通じて生徒ががんについての正しい知識理解とがん患者等に対する理解を深めるため、学校に外部講師として専門家等を派遣する大阪府教育庁の事業を活用し取組を進めている。具体的には、がんに対する正しい知識やがん検診の大切さ、がんを予防するための生活習慣を身につけることの大切さなどを学んでいる。なお、R5 実績「104」はがん教育を実施した学校数である。

・検診受診率の正確な把握がむずかしいがその工夫についてなにかあるか。

→受診率の算出については非常に苦慮している。分母の取扱が難しい。国の方針に従い、分母は住民全体としている。ただ、職域の捕捉ができていないため、大阪市は他自治体と比較して少ない傾向となっているのが実情である。府や国と連携しながら、よりよい方法を模索している状況。

大阪府が国と連携して職域の検診受診率把握の取組を始めている(今年度はモデル自治体2つで実施)。大阪府と協力しながら、正確な検診受診率の把握に努めていきたい。

分野別:循環器疾患 資料1 6ページ

・特定健診について、かかりつけ医からやはがき送付による受診勧奨の取組があるが、勧奨後の受診状況も把握するのか。

→かかりつけ医による受診勧奨については、令和5年度から大阪府医師会と連携して実施している。かかり

つけ医及びはがき郵送による受診勧奨後の効果測定も実施する予定。

分野別:栄養・食生活　資料1　10 ページ

・食育について、壮年期、老年期は栄養指導がカバーできるが、少年期・青年期の食育の重要性を感じる。学校の栄養教諭や養護教諭の役割が重要だと思う。

・ボランティアの養成講座について、どのような方法で実施しているのか。養成学校の学生は対象か。

→各区で食生活改善推進員の養成を行っている。学生については、市内の管理栄養士養成校で、食育ボランティアの養成を行っている。

(2) 大阪市歯と口腔の健康づくりアクションプラン～すこやか大阪21(第3次)～(案)について

事務局より資料3に沿って説明。

(主な意見・質疑等)

・歯周病検診の受診率がなかなか上がらない。1%を切っている状況。はがき送付により、多少改善したが、モチベーション向上に向けて、大阪市には原因究明と対策を進めていただきたい。

・5ページについて、具体的な取組として、学校歯科医会は、う蝕のあるものについては、歯科受診を促している。

・口腔機能発達不全症について、学生に対して口唇の閉鎖を促すように周知している。

・う蝕や歯周病はイメージしやすいが、「口腔機能発達不全症」はイメージがむずかしい。説明を加えるのがよいのではないか。

→説明を加えさせていただく。

・1ページについて、「第3次でなにが新たな取り組みとして加わったのか」がわかりにくい。

→記載内容について、検討させていただく。